きらり 男女（みんな）のコーナー
～目指せ！男女共同参画社会～（第7回）

このコーナーは、曽於市に住む鹿児島県男女共同参画地域推進員が、曽於市のいろいろな方にインタビューするコーナーです。

やりがいを感じる仕事です！

曽於警察署
巡査長
安楽（あんらく） 弥裕希（みゆき） さん

安楽さんは、曽於警察署に勤務する警察官です。制服姿で交通指導や取り締まりをする姿を見かけることができます。取材とはいえ、警察に行くのは少し緊張しましたが、優しい笑顔で迎えてくれました。

警察官になったきっかけは

警視庁に勤務する従兄の姿や刑事ドラマなどをみて、高校生の頃から警察官にあこがれていました。大学生の時、警察官への思いが強くなり、採用試験を受験しました。倍率が高い中での合格に、家族も驚いていました。6カ月間の警察学校は、とても厳しく体力面も精神面も鍛えられました。警察官になって4年目ですが、今はあの時ほどの体力は・・・でも時間があれば家の周りを走っています（笑）。

曽於市についてどのように感じていますか

9月に曽於警察署に異動になり、受け持ち地区へあいさつにまわりましたが、以前の勤務地である鹿児島市内とは違った反応で、皆さんが女性警官を珍しがられます。あいさつや声かけをよくしてくれますし、地域住民の繋がりや温かみを感じています。小学校の運動会や交通ナイトスクールに行ったときは、皆さんが温かく接してくれ、子どもたちも近くに寄ってきて話しかけてくれました。先日、同僚の女性警察官とパトカーで巡回中に小学生が敬礼をしてくれました。うれしくなりこちらも車内で敬礼をしました（笑）。

警察官という「仕事」はどうですか？

やりがいのある仕事です。夜勤もあり、休みの日でも呼び出されます。殺人や強盗事件にも関わらなければなりません。危険な仕事でつらいと思ったことはありますが、一度も辞めたいと思ったことはありません。負けず嫌いだからでしょうか、逆にやりがいを感じています。性犯罪やそれ以外での女性や子どもの被害者で、女性にしか話せないと言う人もいます。女性警察官の必要性を感じます。警察にはいろいろな部署がありますが、捜査に携わるような経験も積んでいきたいです。・・・もちろん結婚、出産しても仕事を続けていきたいです（笑）。

（参考）鹿児島県警察本部によると、県内の警察官の数は、総数で2986人、うち女性警察官は182人です（H26年10月末）。平成23年5月に「警察庁における女性職員採用・登用拡大計画」が策定され、女性職員が少しずつ増え、仕事と家庭の調和のための環境整備が進められているようです。

取材
県男女共同参画地域推進員
（島子正一郎　末永順子
馬場雅子）

お問い合わせ先
企画課　男女共同参画係
☎0986-76-8802